

令和8年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 期 日 令和8年6月23日(火) 15:45~16:45

2 場 所 岩手県立金ヶ崎高等学校 会議室

3 出席者(敬称略)

小澤 賢 鈴木 知里 小原 明男 大森 啓睦 吉田 潤

小原 拓也 有住 龍星

千葉 美春 中野 俊一 照井真由美 後藤 裕介 千葉 一弘(書記)

4 次 第

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 協議会委員自己紹介

(4) 会長及び副会長選出

(5) 協議

(5) 意見交換

(6) その他

(7) 閉会のことば

5 協議の概要

■会長・副会長選出

会 長 小澤 賢 様(昨年度より継続)

副会長 吉田 潤 様(昨年度PTA会長千葉様退任による新任)

■学校経営方針・学校経営計画説明

・校長より学校経営計画について説明。

・昨年度からの変更点について説明。

「4 目指す学校像 (1) 今年度の重点目標」の「達成指標」について、昨年度までは達成した項目について数%ずつ引き上げて設定していた。今年度は全項目 85%に統一した。85%は昨年度の達成指標の最低ラインの数値である。

統一した理由は 85%自体、他の学校では高い数値であることと、生徒数の減少により1人あたりの割合が1.2%から1.8%に増加したことで、1人の回答の重みが上がったことがあげられる。

「5 業務量管理・健康確保措置」の項目を追加。給特法の改正により、業務量管理・健康確保措置実施計画の策定が定められ、この「5 業務量管理・健康確保措置」についても運営協議会での承認が必要になった。

【委員】

・昨年度の重点目標に対する各項目の達成状況はどうなっているのか。

→・ア [目標] 87% → [結果] 87% …達成	イ [目標] 85% → [結果] 88% …達成
ウ [目標] 88% → [結果] 89% …達成	エ [目標] 85% → [結果] 83% …未達成
オ [目標] 88% → [結果] 88% …達成	カ [目標] 85% → [結果] 86% …達成

【委員】

- ・目標数値の85%は、何を用いて計算した結果を表しているのか。
- 各項目に関係したアンケートの結果を用いて計算している。「授業評価」と記載されているものは、生徒への授業評価アンケート、「学校評価」と記載されているものは、生徒・保護者・教員・協議会委員の方への学校評価アンケートの結果を用いている。

■学校概況説明（学習・キャリア形成等）

- ・教務主任より、教育課程・学習に関する行事・生徒数について説明。
- ・進路指導主事より、昨年度の進路実績や傾向について説明。

【委員】

- ・国公立大学進学者が一昨年度と比べると少ないのはなぜか。
- 学力層で言えば、昨年度の学力トップ層の生徒は就職をしている。自分の進みたいところを考えて受験している。希望している学校が私立大学であった生徒もいる。上位層であるから必ず国公立大という指導ではないためである。ただ、成績が伸び悩んだ、ということもある。
- さらに、今回の共通テストが難化したため本校生徒が希望している学校に、他の学校の普段は受験しない上位の層が下りてきたこともあり不合格となった生徒もいる。

■高校魅力化推進への取組について（魅力化コーディネーターより）

- ・魅力化コーディネーターより昨年度の活動報告を行った。

【委員】

- ・活動的に行っているな、と感じる。金高の魅力の1つとなっていることが伝わってくる。
- ・昨年度のマイプロジェクトアワードに参加した生徒の発表内容はどのようなものか。
- 3年生は「AED」のチームである。2年連続地域サミット特別賞をいただいている。2年生は昨年度の運営協議会でも発表した「睡眠の質の改善」「小学生に向けた学校でのもやもやへの解決方法」。1年生は個人の研究であるが、ホテルルートインがなぜ金ケ崎にできたのかを調べた。タイトルが「金ケ崎に突如現れたルートインの謎を探せ」というものであった。もう1つは、学校のロッカーが使いづらいから、使いやすくしようという内容である。段ボールで試作品を作って実際に利用して試していた。
- ・1年生は、2・3年生の発表を見て刺激を受けていたようである。

【委員】

- ・資料に記載されている参加人数は金高だけの人数か。
- 金高だけである。それ以外の人も参加している。
- ・いろんな高校の生徒さんとの交流の場となっていて良いなあ、と思っている。

【委員】

- ・参加した生徒の感想を教えてください。
- 参加した生徒は、地域の中で、自分たちでイベントをしている人がいることを知れた、という感想を持っていた。
- ・また、奥州市の生徒は、これまで金ケ崎との接点がなかったが、高校に入ることによって接点ができ、イベントを通してさらに接点ができ、見えていなかったところが見れてよかった、と話していた。

【委員】

- ・AEDのチームで作った子供向けの絵本は、AEDを知ってもらおうきっかけづくりに良いと感じた。

- ・保育園等に読み聞かせをしてくれたのが、先生ではなく、生徒から、こどもたちのお姉さん感覚で伝えてもらったのが良かった。世代を超えて、伝えられたのが良かった。

【委員】

- ・この絵本は、お子さんに伝える体で、大人にも知ってもらえることができる複合的な要素がある。

■運営協議会規約の改正について

- ・給特法の改正により、業務量管理・健康確保措置についての承認が必要になったため、第4条の協議会で承認を得るものに(6)を追加した。

■意見交換

【委員】

- ・高校生は、中学生と切り口が異なり、大人びたかわり方をしていると感じた。
- ・中学生と一緒に活動できることがあれば、進めていきたい。

【委員】

- ・先輩方は言っていることは、いろいろと考えている、と感じた。先輩や先生の教え方の方針は良いと思う。
- ・水沢高校との統合について、水沢高校と一緒になりたくない、という親御さんもいる。ここに入ったからには、ここで卒業させたい、ということで話し合いに参加したい。
- ・青陵祭で、PTAで何かやれないかとの話をもらい、検討している。親御さんとこどもたちのつながりを持てることをしたい。

【委員】

- ・生徒たちは、いろいろと考えてやっている。
- ・先生から手厚い指導や話せることがよい。少人数があっている生徒もいると思う。そういうところも活かせると思う。

【委員】

- ・先生たちが生徒を見てくれている、と探究の中でやっていると感じる。
- ・過去にいろいろあったり、いろいろな人たちの受け皿になっている。そういう学校も必要である。

■次回の開催日について

- ・第2回学校運営協議会は、課題研究中間発表会開催の日の9月26日（土）を予定。

以上